

2019年度(令和元年度) 事業計画

一般財団法人大阪府バスケットボール協会

〈競技〉

大会名	期 日	会 場	備 考
第34回大阪招待高校バスケットボール大会	4月3日 ↓ 4日	丸善インテックアリーナ大阪	
大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技	5月6日 ↓ 28日	東淀川体育館 千島体育館 丸善インテックアリーナ大阪サブ	予選リーグ戦 決勝トーナメント戦
第74回国民体育大会近畿ブロック大会	8月22日 ↓ 25日	奈良県	8/22・23 少年男女 8/24・25 成年男女
第74回国民体育大会	10月4日 ↓ 8日	茨城県	
第66回大阪総合バスケットボール選手権大会	8月31日 ・ 9月1日	未定	全日本選手権大阪府代表決定戦を兼ねる
第95回天皇杯・第86回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会			
1次ラウンド	9月21日～23日	兵庫県	
2次ラウンド	11月30日 ・12月1日	金岡公園体育館	
ファイナルラウンド	1月9日 ↓ 12日	埼玉県さいたま市	
(一財)大阪府バスケットボール協会カーニバル	3月8日	おおきにアリーナ舞洲	

第21回Wリーグ 大阪大会開催予定

開 催 日	開 催 会 場	対 戦 カ ー ド	
12月15日(日)	金岡公園体育館	Wリーグ	トヨタ紡織 vs アイシンAW
			日立HT vs JX
2月29日(土)	金岡公園体育館	Wリーグ	三菱電機 vs デンソー
3月1日(日)			デンソー vs 三菱電機

TO委員会

1. 重点目標

- ・ トップリーグを担当できる知識と技能を持つ TO 担当者の育成。
- ・ FIBA Statistician ライセンス及びFIBA TO ライセンスを取得できる知識と技能を持つ TO 担当者の育成。

2. 活動方針

- ・ 定期的に講習会を実施し、ルールの理解を深め、技能を磨く。
- ・ トップリーグに限らず、天皇杯・皇后杯や3x3 などカテゴリーを越えて TO 担当者を派遣する。
- ・ JBA が主催する TO 講習会等に積極的に研修生を派遣し、研鑽を積む。

3. TO 講習会 実施計画

No.	開催日	研修会・研修使用大会等	会場	備考
1	2019. 04. 06 (土)	新規 TO 希望者 ガイダンス・講義	大阪府協会事務所	ガイダンス 講義
2	2019. 04. 下旬	高校生の練習試合を 利用しての TO 講習会	未定	実技講習
3	2019. 05. 25 (土)	大阪府民大会	東淀川体育館	実技講習
4	2019. 05. 28 (火)	大阪府民大会 (最終日)	丸善インテックアリーナ大阪	実技講習
5	2019. 06. 中旬	高校生の練習試合を 利用しての TO 講習会	未定	実技講習
6	2019. 06. 下旬	地域リーグ	調整中	実技講習
7	2019. 07. 中旬	W リーグ サマーキャンプ	未定	派遣
8	2019. 08. 31 (土) 09. 01 (日)	大阪総合	調整中	実技講習 ルールテスト
9	H30. 09. 14 (土) ～16 (月)	B. LEAGUE EARLY CUP KANSAI 2019	おおきにアリーナ舞洲	実技講習 (他府県と合同開催)

4. TO 派遣 計画

- B. LEAGUE 大阪エヴェッサ ホームゲーム (30 試合) へ 延べ 210 名を派遣予定
- W リーグ 大阪府開催の 4 試合へ 延べ 20 名を派遣予定
- 3x3 連盟 OBA 3x3 League へ 派遣予定
- 3x3. EXE PREMIRE へ 派遣予定
- その他、各連盟や全国大会等への派遣依頼があれば、積極的に派遣する。

<広報>

ホームページ・Facebook・Twitter を活用し、大阪のバスケットボールの情報源として、さらに充実した内容を掲載し情報発信をしていく。

1. Facebook でのインサイト（利用情報）を活用
アクセス状況が高い時間を分析し、登録者が Facebook を利用している時間帯での情報発信。
2. 新たな Facebook・Twitter 登録者（ファン）の開拓
SNS 利用者へ、スポンサー獲得や大会・イベント告知に広告利用を行い、非登録ユーザーへのアプローチと協会ページのファン獲得。
3. Facebook や Twitter を利用した企画
主管大会等を通じて、SNS を利用したプレゼントなどのイベントを企画。
4. 動画を利用した発信
文章や写真では伝わらない大会の様子を動画などのコンテンツを利用し、積極的に発信。
- 5 ホームページの充実
大会情報や結果、新着情報などの情報を始め、各委員会・部会・連盟と連携をする。

<技術統括>

1. 方針

2019年度は、(公財)日本バスケットボール協会より打ち出された「JAPAN BASKETBALL STANDARD 2016」の理念を受け、「大阪でバスケットボールを楽しむ人が増え、バスケットボールを楽しめる環境が充実し、そして大阪から日本代表選手が生まれ世界で活躍し、それが大阪や日本社会を元気にしていくこと」を理念とし、各委員会がこれまで構築してきたものを更に充実させ、場合によっては各委員会が横断的に協力し、登録チームや選手に対して「育成」・「強化」・「普及」をはかるために事業をすすめていきたい。

「育成」においてはDC事業が5年目を迎え、U-12 カテゴリーの練習会実現とU-13 カテゴリーの5地区練習会の流れをU-14 カテゴリーに直結する体制づくりをすすめていきたい。また、指導者養成では2019年度よりコーチライセンス制度が大きく改定される。コーチに必要な知識・能力などを身につけ、プレーヤーにとって安心・安全な環境を構築するためにも適切な支援をしていきたい。

「強化」においては2019年度国民体育大会(国民スポーツ大会)から少年種別がU-16に変更されるため、選手選考方法やスタッフ構成など強化に向け取り組んでいきたい。

「普及」においてはU-12、U-15の種別で参加できるドリームカップでの参加チーム増加傾向に対する対策と、50歳以上のシニア大会の開催を通じ普及に努めていきたい。

2. 今後の課題と具体案

(1) 強化事業

①国体(成年種別)事業

- ・ トップリーグを引退した選手の人材活用
- ・ 軸となるチーム、選手の発掘
- ・ 「強豪大阪」に向けたコーチ、指導者の選考
- ・ 学連、社会人連との連携
- ・ 強化練習会、合同練習会の充実、人材発掘
- ・ 若手スタッフ、女性スタッフの発掘と育成
- ・ 継承性を考慮したスタッフ選考

②日本スポーツマスターズ2019への選手選考、派遣

2019年9月20日(金)～24日(火) 開催地：岐阜県

(2) ユース育成事業

- ・ DC事業組織の確立、伝達講習の充実
- ・ 各地区における講習会の開催、特にミニ連との連携
- ・ カテゴリーを越えての交流
- ・ 強化委員会、指導者養成委員会、普及委員会、競技部との連携
- ・ 国体少年種別、DC事業の発展と充実、中高一貫指導体制、マニュアルの確立、長身者の育成

(3) 指導者養成事業

- ・ JBA公認コーチの登録管理
- ・ JBA公認コーチ養成講習会の開催
- ・ 指導者講習会(ワークショップ・スペシャルクリニック)の企画、開催
- ・ 広報、映像事業の展開
- ・ 指導者海外研修の充実

(4) 普及事業

- ・ シニア大会開催
2019年10月12日(土) 会場：豊中市立豊島体育館
- ・ ドリームカップ大会開催
2019年11月2日(土)～4日(月祝) 会場：東和薬品 RACTAB ドーム

(5) 3x3事業

- ・ 日本選手権大会への選手派遣、強化

<トップアスリート育成事業>

- ・ ON Pro. Spring camp
2019年4月8日(月)～14日(日) WJBL 選手対象 海外遠征
- ・ ON Pro. Summer camp
2019年8月18日(日)～20日(火) ジェイソン・バスケットコーチ招聘

<トップアスリート育成事業>

- ・ ON Pro. Spring camp
2019年4月8日(月)～14日(日) WJBL 選手対象 海外遠征
- ・ ON Pro. Summer camp
2019年8月18日(日)～20日(火) ジェイソン・バスケットコーチ招聘

<医科学>

1. スタッフ勉強会の開催

医科学委員、サポートスタッフ（学生を含む）、メディカルチェックスタッフ、有資格の希望者等を募って「勉強会」を開催し、スタッフの各種レベルアップをはかる。偶数月の第3土曜日18時～21時大阪府協会事務局で開催。また、受講者の中から本委員会への貢献度、人格面、経験値などを考慮して活躍を期待できるスタッフに日本スポーツ協会アスレティックトレーナー講習会参加の推薦を、大阪府協会に依頼する。

2. メディカルチェック（フィジカルチェック含む）

主に中学生、高校生、大学生で公募。土日祝を利用して30人以上で開催する。平成27年度から継続実施の高校、DCの中央練習会参加の中学生は無料。必要機材を順次揃えていく。特に足首ねんざの予防に力を入れ、エコー検査を中学生から推進していく。またメディカルチェックの結果を各選手に認識させ、起きやすい傷害を予防するトレーニング方法やケガをした時のリハビリ等の運動指導を行う。

3. トレーナーブース

大会時、トレーナーブースを設置し、選手に対する救護、テーピング、アイシング、ストレッチ指導、トレーニング指導、リハビリ指導などのコンディショニングを業務とする。業務に必要な資材の充実を図る。現場ではLINE動画などで間接的に医科学委員のドクターに指示を仰ぐ等をして、幅広く対応できるように各分野のスタッフに関わる。

4. 大会へのドクター派遣

大阪府協会主催大会や各連盟近畿大会、全国大会、Wリーグなどへドクター派遣やドーピング検査への協力を行う。

5. DC など協会事業への協力

DC中央講習会の救護やメディカルチェックに協力する。

6. 助成金の獲得

昨年度同様スポーツ安全協会の助成金（10万円）を今年度も申請する。

7. 協賛医院の募集

ホームページの協賛医院を募集する。

8. 医科学委員会会議の開催

奇数月第3土曜日に会議を行う。委員だけでなく医科学委員会の構成する登録サポートスタッフもオブザーバーとして参加してもらう。

9. 学会発表

5年間の傷害予防調査の結果やメディカルチェックの結果をもとに日本臨床スポーツ医学会や日本バスケットボール学会にて発表を行い、傷害予防についての啓発を行う。

10. ホームページの作成・充実

現在存在する協会ホームページ内の医科学委員会ページの内容の充実化として、活動記録や傷害予防啓発の発信などをおこなう。

11. U12 チームへの医科学の介入

枚方体育協会の地域型総合クラブへの傷害予防を目的とした医科学委員の介入をサンプル的に行う。

<審判>

1. 2019年度 大阪府所属審判員

S級 8名：浅野祐樹（中）・飯尾勝紀（高）・北沢あや子（社）・北沢岳夫（社）

茅野修司（社）・黒岡和哲（社）・高野晃平（社）村田尚美（社）

A級 9名：石川淳也（中）・大倉哲也（高）・北村仁（高）・清瀬未喜（社）田中真規（社）

堂國和昭（ミ）・開康寿（中）・細見竜太（社）・宮城由紀（社）

2. 重点目標

- ・『公平性・一貫性のある判定力』を持つ審判員の育成。
- ・プレイヤー、ベンチ、観客から信頼を得る審判員の育成。
- ・3P0担当審判員の育成。
- ・次世代を担う審判員の育成。
- ・B：A：S級ライセンス昇格者の育成

3. 方針

- ①バスケットボール技術向上の為に正しいルールの適応と実践。
実技及び座学講習会を実施すると共に映像を使用しての分解講義の実施。
- ②大きな枠組み以外に細分化した講習会の継続実施。
3P0：2P0：指名強化：女性：BCD級：U30：YOC（ヤングオフィシャル）を対象とした講習会の実施。
- ③カテゴリー、連盟を超えた各種大会への審判交流の実施を行い、各連盟で行う講習会へも積極的に参加する。
- ④他府県及び他ブロックへの審判派遣。
大阪府以外への審判員派遣を行い、普段と違う環境での活動を行う。
- ⑤審判員として常に向上心を持ち、研鑽する努力を積極的に行う。
- ⑥審判委員会HPの活用。
各種大会及び結果、報告書を掲載し情報の共有と提供を行う。

4. 講習会計画

講習会・研修会 名	時 期	備 考
2 (3) P0 講習会 (JBA)	5月	指導部・連盟推薦
3P0 講習会 (JBA)	6月	上級+指名審判員
女性講習会	4～8月	女性審判員
A級候補審判強化講習会	5～8月	指名B級審判員
BCD級講習会	5～10月	BCD級審判員
U30 (YOC) 勉強会	5～9月	審判委員会指名
A級研修会 (近畿ブロック)	8月	A級審判員
2019年度 昇格審査会	11月～12月	連盟長推薦